

## 2025年 10月～12月 活動報告

前川 康生

皆様こんにちは。天塩町地域おこし協力隊の前川です。

着任からあっという間に9か月が過ぎました。札幌で4年間過ごした経験はあります  
が、さらに北に位置する天塩で冬を迎えるのは初めてのこととなります。そのため、札幌  
ではあまり意識しなかった冬の過ごし方について、水道管の凍結や路面凍結時の運転など  
に注意が必要だと感じています。

今年度は、来館者アンケートにお寄せいただいたご意見を参考にしながら、事業へと活  
かしていきたいと考えています。地域の皆様と共に、より良い活動を展開できるよう努め  
てまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

### 活動内容

#### 1. 研修・会議

日付	内容	開催地
10月5日（日）	令和7年度 宗谷管内地域おこし協力隊研修 「トークセッション in SOYA」	稚内市
10月8日（水） ～9日（木）	令和7年度 北海道博物館協会ミュージアム・マネージ メント研修会	名寄市
10月23日（木）	令和7年度 第2回地学協働コーディネーター研修	当別市
10月24日（金）	令和7年度 地域コーディネーター研修講座	札幌市
11月20日（木） ～21日（金）	北海道博物館協会 学芸職員部会第49回総会・研修会	苫小牧市
12月4日（木）	地域おこし協力隊デジタル活用研修 「デジタルを活用した地域課題の解決に役立つアイデ ア・ツール」	オンライン (ZOOM)
12月15日（月）	全日本博物館学会・日本博物館協会 緊急合同フォーラ ム  「博物館の設置及び運営上の望ましい基準改正案」の説 明会について	オンライン (ZOOM)
12月16日（火）	全国民具比較研究会 趣旨説明会	オンライン (Teams)
12月23日（火）	高校コーディネーター研修	オンライン (ZOOM)

## 研修を通じた学び・成果

- ・宗谷管内地域おこし協力隊研修「トークセッション in SOYA」

宗谷管内における協力隊の活動状況を知る貴重な機会となり、留萌管内の協力隊や地域関係者との交流・連携に向けた足がかりを得ることができました。
- ・地学協働コーディネーター関連の研修

任命直後で制度理解が十分でなかったが、研修を通じて役割を深く理解しました。天塩高校の「総合的な探究の時間」に今後から強く関わり、高校と地域を繋げる役割を全うしたいです。
- ・博物館関連研修・フォーラム

学芸員としての専門性・知識を高めるとともに、道内の学芸員などとの横の繋がりを広げることができました。
- ・全国民具比較研究会への加入

全国民具比較研究会に加入（個人）しました。民具の分類は、衣食住・生業・通信・運搬・儀礼・娯楽など多岐にわたります。天塩川歴史資料館には豊富な民具を収蔵・展示しております。

今後は研究会を通じて民具に関する知識をさらに深め、資料館活動にも活かしながら、町民の皆様に地域ごとの民具の特色を分かりやすくお伝えしていきたいと考えています。

## 2. 来館対応

- ・10月22日（水）：留萌振興局新人研修（16名）
- ・同日：留萌振興局主催 管内自治体研修会（約30名）

## 3. 地学協働コーディネーター

- ①天塩高校1年生 総合的な探究の時間 フィールドワークへ参加
  - 10月3日（金）：事前授業
  - 10月10日（火）：植樹体験、野鳥観察

天塩高校1年生 「総合的な探究の時間」の一環として実施されたフィールドワーク（植樹体験・野鳥観察）に、同行しました。

赤→野鳥観察場所

青→植樹場所



②天塩高校 2 年生の総合的な探究の時間の発表に向けた協力

- ・イベント班 「全力チャレンジ！ 天塩スポーツフェスタ」

告知・広報協力、てしお仮面の人形の提供

- ・遊び場班

町内各事業所へのアンケート配布

③12月 17 日（水） 「総合的な探究の時間」発表会への参加

1 年生の動画制作発表では、ショート動画という限られた時間の中で、天塩の魅力をどのように伝えるか、生徒たちが工夫を凝らしている様子が多く見られました。私自身、動画制作の経験があまりないため、大変学びの多い時間となりました。

2 年生は、この 1 年間の活動成果をまとめた発表でしたが、9 月の中間発表以降の取り組

みを把握できていなかったこともあり、約3か月間でここまで多様な活動を進めていたことに驚かされました。また、発表の構成や話し方も、中間発表とは比べものにならないほど洗練されており、短期間での大きな成長を実感しました。

2026年度には、今回の経験を踏まえて、さらにどのような活躍を見せてくれるのか、今からとても楽しみにしています。

#### 4. 旧更岸小学校（廃校）での活動

11月6日（木）

旧更岸小学校（廃校）において、国鉄羽幌線（天塩線）の駅名看板（さらきし・かんたく）を保護する作業を実施しました。駅名看板はコンクリートブロックに固定されているため、廃校舎内へ移動することは困難な状況です。そこで、これ以上の劣化を防ぐため、ブルーシートで覆う対応を行いました。

旧更岸小学校には羽幌線関連の資料が収蔵されていますが、駅名看板もまた地域の歴史を物語る重要な資料です。町内の高齢者の多くは廃線前の路線を利用した経験を持ち、看板はその記憶を呼び起こす存在でもあります。

一見すると地味な作業ではありますが、地域の記憶を継承するために欠かせない保存活動であり、今後の資料館活動や地域文化の継承に資するものです。



## 5. 来館者アンケートの結果

資料館では、来館者の皆さまからのご意見を今後の運営改善に活かすため、昨年 5 月より来館者アンケートを実施いたしました。回答方法は紙と QR コードの両方を用意し、利便性に配慮しております。

その結果、昨年度の来館者数の約 1 割にあたる 147 件の回答をいただきました。多くの方々から貴重なご意見をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。

アンケート結果の詳細につきましては、以下の URL よりご覧いただけます。

<https://drive.google.com/file/d/1WP9y5kZTQD2H0IqzsXec61by9nNH51X/view?usp=sharing>

## 6. その他

- ・株式会社 北海道アルバイト情報社 「くらしごと」の取材対応

詳しい内容は以下のリンクからウェブサイトを見ることができます。

[【天塩町】歴史・静けさ・生態系。天塩町の協力隊が感じた、贅沢な暮らし | 北海道の人、暮らし、仕事。 くらしごと](#)

- ・公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会

2027 年青い目の人形 100 年平和サミットに向けた「青い目の人形」に関するアンケートへ回答しました。

## 7. 昨年度の総括・今年度の目標

### 昨年度の成果

- ・入館者数：1473 名（2024 年度 1171 名 → +302 名 約 25% 増）
- ・イベント実施：道みんの日、巡回展

昨年度は、地域おこし協力隊として学芸員活動を開始し、資料館の課題把握と準備の期間となりました。展示説明やイベントの実施、資料整理（準備段階）、聞き取り調査などに取り組み、保存環境や展示に関する課題を明確化することができました。

さらに、天塩高校の地学協働コーディネーターに着任し、高校生と地域をつなぐ役割について理解を深めました。本格的な活動はまだ限定期ではありましたが、今年度からは地学協働コーディネーターとしての業務にも積極的に取り組んでいきます。

## 今後の展望

今後は、資料館のさらなる発展と地域文化の魅力発信を目指し、以下の取り組みを計画しています。

計画	内容
1. 資料管理・保存環境の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・デジタル化</li><li>・カビ対策</li></ul>
2. 展示の質向上と来館者体験の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・キャプション追加</li><li>・解説文の更新</li><li>・企画展、体験講座などの開催</li></ul>
3. 調査研究の深化	<ul style="list-style-type: none"><li>・聞き取り調査・地域史調査を2件以上取り組む</li></ul>
4. 広報	<ul style="list-style-type: none"><li>・SNS発信を通じた、資料館の知名度向上</li><li>・来館者数を1500名超の達成</li></ul>

これらの取り組みを通じて、資料館を地域文化の拠点として定着させ、住民・児童・観光客が交流し学びの場の創出を目指します。